

■ 令和 7 年度那須塩原市企業版ふるさと納税に係る受入対象事業一覧

No.	事業名／プロジェクト名	課名	事業期間 の終期 (見込)	事業の概要	R7年度事業費	事業に関連する SDG s の目標
1	那須塩原駅周辺まちづくり推進事業 官民連携でエリアの価値を高め「行きたい・遊びたい・暮らしたい」那須エリア の玄関口を実現するプロジェクト	那須塩原駅周辺整備室	令和8年3月31日	東京圏から好アクセスの観光地として知られる那須エリア。その玄関口である那須塩原駅周辺エリアは、JR東北新幹線の開通から40年以上が経過するも、周辺の土地の有効活用が進んでおらず賑わいに乏しい現状があります。 この事業を通して那須塩原駅周辺の個性と独自性を前面に押し出した魅力的な空間づくりに官民連携で取り組み、那須エリアを訪れる人々に「行きたい・遊びたい・暮らしたい」と感じていただけるまちづくりを行っていきます。 【R7年度事業内容】 ・地域、民間事業者等と共にまちの未来を考えるための対話の場の創出 ・公共空間等を活用した賑わい創出社会実験の実施 等 ※令和6年度の取組：https://youtu.be/uGKK1Dpvc7E?si=0tNZhJiapBUtgNwc	63,811千円	 
2	ネイチャーポジティブ推進事業 那須塩原市とネイチャーポジティブしませんか？	ネイチャーポジティブ課	令和8年3月31日	本市は、令和5年9月に「2050 Sustainable Vision 那須塩原～環境戦略実行宣言～」を発表し、「カーボンニュートラル」、「サーキュラーエコノミー」とともに、生物多様性の損失を止め回復に向かわせる「ネイチャーポジティブ」の実現を目指しています。 中でも「ネイチャーポジティブ」の実現に向けた取組は、全国に先駆けて進めたいと考えています。 そのためには、私たちとともに活動する仲間や適切な事業提案、そして資金を必要としています。 寄附は、希少野生動植物種の保護、特定外来生物の防除、農業生態系といった事業を通じて、生物多様性の損失を止め回復に向けて活用してまいります。 ネイチャーポジティブの実現により、「持続可能な環境都市 那須塩原市」をとともに目指しましょう！	21,558千円	    
3	気候変動対策事業 未曾有の気候危機に立ち向かう！官民共創での気候変動対策	カーボンニュートラル課	令和8年3月31日	気候変動への対策は、その原因となる温室効果ガスの排出を削減し、気候変動を極力抑制する「緩和」と、緩和を最大限実施して避けられない気候変動の影響に対しては、その被害を軽減し、よりよい生活ができるようにしていく「適応」の考え方があります。那須塩原市では、「ここに住んでいれば生き延びられる」持続可能なまちの構築を目指し、緩和の取組と適応の取組を積極的かつ一体的に進めています。 【緩和策】 脱炭素に係る地域企業連携事業では、令和6年度に設立した那須塩原市ゼロカーボン・コンソーシアムで、会員相互の情報交換や事例提供によって地域の脱炭素化を支援し、脱炭素社会を実現することを目指します。 地域脱炭素化促進区域設定事業では、令和4年度から5年度にかけて作成した再生可能エネルギーゾーニングマップ及び令和6年度に作成した地域再生可能エネルギー導入ビジョンを基に、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、地域の合意形成を図りつつ、環境に適正に配慮し、地域に貢献する、地域共生型の再エネ事業を推進するため、那須塩原市気候変動対策計画に脱炭素化促進事業に関する事項を反映し、那須塩原市内の民間企業主体で進める促進事業の伴走を行います。 【適応策】 熱中症予防情報発信業務では、令和4年度から暑さ指数31℃を基準とした市内中学校区（10地点）の情報をみるメール及びLINEで配信しています。また、令和6年7月1日から更なる熱中症対策を目的として、クーリングシェルター及び涼みどりの指定・運用を行いました。令和7年度は、熱中症予防情報配信に加え、熱中症特別警戒情報の配信、クーリングシェルター及び涼みどりの指定及び運用を拡大するため協力いただける事業所の公募を行います。	【緩和策】 脱炭素に係る 地域企業連携事業 6,600千円 地域脱炭素化 促進区域設定事業 6,556千円 【適応策】 熱中症予防情報発信業務 1,870千円	   
4	那須塩原市産ワインを活用したサーキュラーエコノミーに資するビジネスモデル の検討及び実証事業 環境都市那須塩原発！サーキュラーワインビジネスの構築	サーキュラーエコノミー課	令和8年3月31日	本市では、令和5年度に「2050 Sustainable Vision 那須塩原～環境戦略実行宣言～」を公表し、「ネイチャーポジティブ」、「カーボンニュートラル」、「サーキュラーエコノミー」を3本柱に、それらの相乗効果を生かした環境施策を進めています。 サーキュラーエコノミーとしては、資源を有効活用することで、環境負担の低減を図り、かつ、当該取組を通じて製品等の付加価値を創出する経済活動を目指しています。 本事業では、本市で「なすしおばらワイン特区」（令和2年度内閣総理大臣認定構造改革特別区域計画）としてまちづくりを進めていることから、市産のワインを活用したサーキュラーエコノミーの民間自立型ビジネスモデルの実現可能性を検討することとしています。 市の特色を生かしたサーキュラーデザインによって、環境都市那須塩原発のビジネスモデルの構築を目指します！ 以下の内容で実証事業を行います。 ・有機性廃棄物から生まれた肥料を用いた、ワイン用ぶどうの栽培実証 ・ワイン製造時に発生するぶどうの搾りかすを染料とした、Tシャツ、ハンカチ、トートバック等の普段使いができる製品の試作 ・本事業で試作した製品の効果的な販売手法の検討と需要調査 ・本事業への理解を深めるサーキュラーエコノミーなイベントの開催	4,916千円	  
5	2025年日本国際博覧会出展事業 盛り上げよう！EXP02025 那須塩原市の子どもたちと共に！	市民協働推進課	令和7年10月13日	2025年に大阪で開催される世界的イベント「国際博覧会」に参加し、東京オリ・パラ以降、これまで受け継がれてきたオーストリアとの国際交流の成果を、本市と姉妹都市であるオーストリアリンツ市の生徒による合唱という形で披露し、那須塩原市を世界にPRする事業です。 この「万博」という特別な舞台で、海外の学生と心をつなげて歌う合唱は、日常では体験できない特別な時間であり、子どもたちにとって今後の考え方や生き方に大きな影響を与える貴重な経験となることでしょう。 次世代を担う子どもたちが、多様性を尊重する意識や国際感覚を身に付け、心豊かな大人へと成長していく舞台、そして、将来の夢や創造性を育む機会となるこの日本国際博覧会出展事業に是非とも御協力をお願いします。	2,059千円	  
6	牛乳等による地域活性化推進事業・畜産振興事業 食べて・観て・学んで 畜産を軸とした未来へつなぐ持続可能なまちづくり ～ 生乳産出額全国2位・畜産産出額全国4位の那須塩原市～	農務畜産課	令和8年3月31日	本市は、生乳産出額全国2位・畜産産出額全国4位を誇る畜産が盛んなまちです。しかしながら、社会情勢の影響に伴う和牛価格の下落や飼料価格の高騰、人口減少に伴う畜産農家の高齢化や担い手不足などの課題を抱えています。 これまでは、農畜産物のPRに主軸をおいた活動をしてきましたが、今後は、本市の基幹的産業の1つである観光と連携を図り、体験ツアーの企画、旅館や市内飲食店での地元農畜産品を使った料理提供などを企画し、市内外の多くの方に農畜産品や畜産業の魅力を伝えていきます。また、畜産のPRイベントや牛柄ラッピング、チーズアカデミー事業、高校生料理コンテストなどにおいては、畜産の枠にとらわれず、他業種とのコラボレーションや多角的なコンテンツ作成により、更なる観光客入込数の増加、関係人口の創出、地域経済の活性化を図り、持続可能なまちづくりを推進していきます。加えて、このような活動を通じて、畜産の担い手確保にも取り組んでいきます。	牛乳等による 地域活性化推進事業費 8,887千円 畜産振興費 14,427千円	     
7	安心して住み続けたい魅力的な地域づくりプロジェクト 青少年健全育成事業（那須塩原子どもカレッジ）／新しい時代のリーダーを育む体験活動プログラム「那須塩原子どもカレッジ」 防災対策事業／「自助・共助・公助」の連携で、まちの安全安心を守ろう 消防団育成強化事業／頑張れ！地域を守る消防団 乃木緑地バリアフリー化事業／楽しい散策を応援する、トイレのバリアフリー化プロジェクト					      
8	子育て応援！子育てしやすい環境づくりプロジェクト 子育て応援券事業／子育て応援券で、ゆとりと笑顔を。 ブックスタート事業／絵本がつなぐ、親子の絆と幸せな未来					  